

データの保存場所

～クラウドストレージの活用～

クラウドストレージとは？

- インターネット上にデータを保存・共有できるサービス
- 「オンラインストレージ」などとも呼ばれる。
- PC内のストレージを利用せずとも、データ保存が可能。



なぜクラウドストレージが必要なのか？

- データのバックアップ

PC故障時のデータ消失の恐れを最小限に。

- データ保存が楽。

自動保存同期設定しておけば、編集する度に上書き保存できる。

- どこからでもアクセス可能。

アプリのダウンロードでスマホからも閲覧可能。

- データの共有可能。

5 大クラウドストレージ

1. Googleドライブ

2. Dropbox

3. OneDrive

4. iCloud

5. Amazonドライブ (写真と動画のみ)

論文・レポートの保存なら
1～4！

各クラウドストレージの特徴①

〈Googleドライブ〉

- Googleアカウントが必要。
- 無料容量：15GB
- 15GB以上は容量によって月額料金が発生。
- スマホアプリあり。

〈Dropbox〉

- メールアドレス等の登録が必要。
(Googleアカウント等も可)
- 無料容量：2GB
- プランによって料金が異なる！
- スマホからもアクセス可。

各クラウドストレージの特徴②

〈OneDrive〉

- Office365の利用者限定。

※琉大はOffice365が無料で配布。

学内メール(●●●●●●●●@cs.u-ryukyu.ac.jp)でサインイン。

詳しくは「情報基盤統括センター」のWebサイトをチェック！

URL:<http://www.cnc.u-ryukyu.ac.jp>

〈iCloud Drive〉

- Macユーザー向け。
- 無料容量：5GB
- 5GB以上は容量によって月額料金が発生。
- iPhoneやiPadからも閲覧・編集可。

	対象者	無料容量	注意点
Googleドライブ	Googleアカウント登録者	15GB	
Dropbox	メールアドレス登録者 (Googleアカウントでも登録可)	2GB	複数の料金プランが存在
OneDrive	Office365利用者 (琉大生は利用可)		Office365インストールにあたって注意点がいくつかあったので、Webサイトを確認。
iCloud Drive	原則Mac/iPhone/iPad利用者	5GB	原則Mac/iPhone/iPad利用者限定

いずれも追加容量を購入することができる。
アプリなどでスマホからもアクセスできる。

さいごに…

- 論文レポートは、編集したら逐一保存することが大事。
- USBだけではなく、クラウドストレージにも保存することで、データ消失の恐れを限りなく低くできる。
- 最低一つ、クラウドストレージを活用してみよう。

